

# 令和5年度 財務諸表の概要



愛媛大学

## 貸借対照表の概要

### ■貸借対照表とは

国立大学法人の財政状態について、決算日（令和6年3月31日）における全ての資産、負債及び純資産を示したものです。

### 貸借対照表【資産の部】

主な増減理由

(単位：百万円)

	令和4年度	令和5年度	増減額	
土地	29,869	29,869	0	
建物等	27,098	26,795	△ 303	減価償却による減少
工具器具備品	5,833	5,464	△ 369	
図書	5,154	5,149	△ 5	
ソフトウェア	1,230	971	△ 259	減価償却による減少
現金及び預金	10,526	10,608	82	
有価証券・長期性預金	3,430	4,528	1,097	長期性預金開始による増加
減価償却引当特定資産	109	109	0	
未収附属病院収入	4,943	5,046	104	
その他の未収入金	1,135	645	△ 489	補助金に係る未収入金の減少
その他の資産	1,111	1,184	73	医薬品の増加による増加
<b>資産</b>	<b>90,438</b>	<b>90,368</b>	<b>△ 70</b>	

※百万円未満四捨五入のため、合計は一致しない場合があります。

#### 【資産の部について】

令和5年度末の資産合計は、前年度比0.7億円減の903.7億円となっています。

##### 主な減少要因

- ・補助金に係る未収入金の減少が4.9億円
- ・工具器具備品の減価償却に伴う資産の減少が3.7億円
- ・建物等の減価償却に伴う資産の減少が3.0億円
- ・ソフトウェアの減価償却に伴う資産の減少が2.6億円
- ・有価証券・長期性預金の取得に伴う資産の増加が11.0億円



# 貸借対照表の概要

## 貸借対照表【負債の部】

### 主な増減理由

(単位：百万円)

	令和4年度	令和5年度	増減額
長期繰延補助金等	1,410	1,226	△ 184
借入金	8,939	8,358	△ 581
運営費交付金債務	292	313	21
寄附金債務	4,599	5,065	465
前受受託研究費等	894	956	62
未払金	5,747	5,864	117
その他の負債	3,754	3,265	△ 489
<b>負債：計</b>	<b>25,635</b>	<b>25,047</b>	<b>△ 588</b>

減価償却による減少

借入金の償還による減少

受入額の増加

改修工事等に伴う未払金の増加

リース資産の減少

※百万円未満四捨五入のため、合計は一致しない場合があります。

### 【負債の部について】

令和5年度末の負債合計は、前年度比5.9億円減の250.5億円となっています。

#### 主な減少要因

- ・借入金の償還に伴う減少が5.8億円



## 貸借対照表【純資産の部】

### 主な増減理由

(単位：百万円)

	令和4年度	令和5年度	増減額
資本金	35,965	35,965	0
資本剰余金	5,616	6,078	461
前中期目標期間繰越積立金	10,403	10,403	0
目的積立金	-	848	848
積立金	-	11,697	11,697
当期末処分利益	12,819	332	△ 12,488
<b>純資産：計</b>	<b>64,804</b>	<b>65,322</b>	<b>518</b>
<b>負債・純資産</b>	<b>90,438</b>	<b>90,368</b>	<b>△ 70</b>

施設費等による資産取得に伴う増加

利益処分による増加

前年度における国立大学法人会計基準の改訂による減少

損益計算書の当期総利益と一致します

※百万円未満四捨五入のため、合計は一致しない場合があります。

### 【純資産の部について】

令和5年度末の純資産合計は、前年度比5.2億円増の653.2億円となっています。

#### 主な増加要因

- ・施設費等による資産取得に伴う増加が4.6億円



# 損益計算書の概要

## ■損益計算書とは

一会計期間における国立大学法人の運営状況を示したものです。業務運営に要した費用、事業の実施や業務の実現に応じて計上する収益を示しています。

### 損益計算書

#### 主な増減理由

	令和4年度	令和5年度	増減額	
(単位：百万円)				
<b>経常費用</b>				
<b>業務費</b>	46,051	47,364	1,313	旅費、減価償却費等の増加
教育経費	2,113	2,106	△7	
研究経費	2,023	2,169	147	注射薬費、医療材料費、電力料等の増加
診療経費	16,926	18,115	1,189	
教育研究支援経費	439	523	84	
受託研究・事業費等	1,844	1,704	△140	受託研究の受入の減少
人件費	22,707	22,746	40	
一般管理費	1,056	1,067	11	
財務費用等	74	50	△24	
<b>経常費用 計：</b>	<b>47,180</b>	<b>48,481</b>	<b>1,301</b>	
<b>経常収益</b>				
運営費交付金収益	12,193	12,394	200	高額医薬品の適用患者及び手術件数の増加
学生納付金収益	5,433	5,485	52	
附属病院収益	23,949	25,257	1,308	寄附金の受入の増加
受託研究・寄附金等収益	3,434	3,579	145	
その他収益	3,023	2,144	△879	補助金の受入の減少
<b>経常収益 計：</b>	<b>48,032</b>	<b>48,858</b>	<b>826</b>	
<b>経常利益（△経常損失）</b>	<b>852</b>	<b>378</b>	<b>△475</b>	
臨時損失	33	62	29	
臨時利益	11,751	1	△11,750	前年度における国立大学法人会計基準の改訂による減少
<b>当期純利益</b>	<b>12,571</b>	<b>317</b>	<b>△12,254</b>	
目的積立金取崩額	249	15	△234	
<b>当期総利益（△当期総損失）</b>	<b>12,819</b>	<b>332</b>	<b>△12,488</b>	貸借対照表の当期末処分利益と一致します

※百万円未満四捨五入のため、合計は一致しない場合があります。

### 【経常費用について】

令和5年度の経常費用は、前年度比13.0億円増の484.8億円となっています。

#### 主な増加要因

- ・高額医薬品適用患者の増加等による診療経費の増加が11.9億円
- ・旅費、減価償却費等の増加による研究経費の増加が1.5億円

### 【経常収益について】

令和5年度の経常収益は、前年度比8.3億円増の488.6億円となっています。

#### 主な増加要因

- ・高額医薬品適用患者の増加等による附属病院収益の増加が13.1億円
- ・補助金の受入の減少が8.8億円

令和5年度の当期総利益は3.3億円となっており、文部科学省への申請のうえ、令和6年度以降、目的積立金として使用予定です。



# キャッシュ・フロー計算書の概要

## ■キャッシュ・フロー計算書とは

一会計期間における国立大学法人の資金（キャッシュ）の収支状況について、一定の活動区分（業務活動・投資活動・財務活動の3区分）に分類して示したものです。



### 主な増減理由

附属病院収入及び受託研究等に係る収入が増加しています。  
また、診療経費等の増加に伴い原材料等の支出が増加しています。

定期預金等の預入による支出や定期預金等の払戻による収入が減少しています。

附属病院の施設等の整備に係る長期借入金の借入による収入が増加しています。

(単位：百万円)

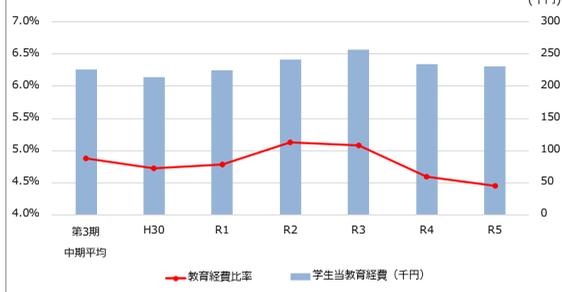
	令和4年度	令和5年度	増減額
<b>I 業務活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>4,327</b>	<b>4,190</b>	<b>△ 137</b>
原材料等支出	△ 19,181	△ 20,227	△ 1,046
人件費支出	△ 23,136	△ 23,392	△ 256
その他の業務支出	△ 1,027	△ 928	99
運営費交付金収入	12,485	12,415	△ 70
学生納付金収入	4,951	4,945	△ 5
附属病院収入	24,214	25,153	939
受託研究・補助金・寄附金収入	5,095	5,436	341
その他収入	940	881	△ 59
預り金の増加（または減少）	△ 13	△ 93	△ 81
国庫納付金の支払額	△ 1	-	1
<b>II 投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△ 2,528</b>	<b>△ 2,533</b>	<b>△ 5</b>
有価証券の取得による支出	△ 3,700	△ 300	3,400
有価証券の償還による収入	3,500	-	△ 3,500
定期預金等の預入による支出	△ 22,500	△ 18,500	4,000
定期預金等の払戻による収入	22,500	18,100	△ 4,400
減価償却引当特定資産の繰入による支出	△ 109	-	109
その他投資による支出	△ 2,801	△ 0	2,801
その他投資による収入	2,801	-	△ 2,801
有形固定資産等の取得による支出	△ 3,411	△ 2,675	736
有形固定資産等の売却による収入	197	3	△ 193
施設費による収入	1,046	819	△ 227
大学改革支援・学位授与機構への納付による支出	△ 67	-	67
その他	16	20	4
<b>III 財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△ 1,469</b>	<b>△ 1,176</b>	<b>293</b>
学位授与機構債務負担金の返済支出	△ 440	△ 419	21
長期借入金の借入による収入	388	684	296
長期借入金の返済による支出	△ 851	△ 847	4
リース債務等の返済による支出	△ 521	△ 555	△ 34
利息の支払い額	△ 45	△ 39	6
<b>IV 資金増加額（又は減少額）（I + II + III）</b>	<b>330</b>	<b>482</b>	<b>152</b>
<b>V 資金期首残高</b>	<b>7,297</b>	<b>7,626</b>	<b>330</b>
<b>VI 資金期末残高（IV + V）</b>	<b>7,626</b>	<b>8,108</b>	<b>482</b>

※百万円未満四捨五入のため、合計は一致しない場合があります。

※キャッシュ・フロー計算書の「期末資金残高」には定期預金が含まれないため、貸借対照表の現金及び預金とは一致していません。

# 財務指標による経年比較について

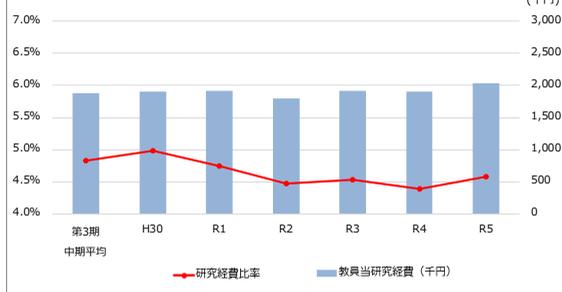
### 教育経費比率及び学生当教育経費



	第3期中期平均	H30	R1	R2	R3	R4	R5
教育経費比率	4.9%	4.7%	4.8%	5.1%	5.1%	4.6%	4.4%

	第3期中期平均	H30	R1	R2	R3	R4	R5
学生当教育経費 (千円)	226	214	225	242	257	234	231

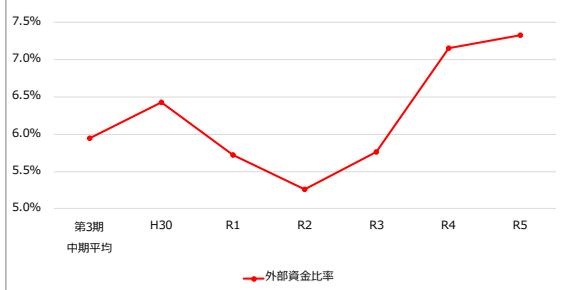
### 研究経費比率及び教員当研究経費



	第3期中期平均	H30	R1	R2	R3	R4	R5
研究経費比率	4.8%	5.0%	4.7%	4.5%	4.5%	4.4%	4.6%

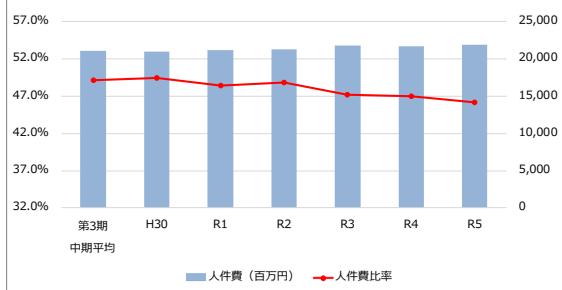
	第3期中期平均	H30	R1	R2	R3	R4	R5
教員当研究経費 (千円)	1,887	1,908	1,913	1,794	1,918	1,905	2,041

### 外部資金比率



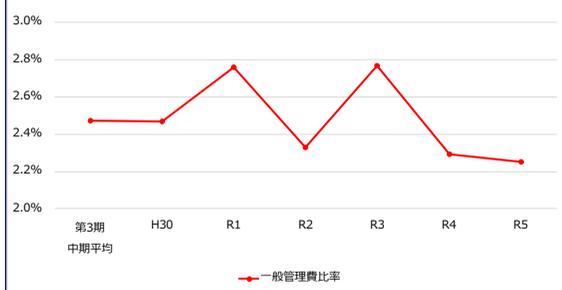
	第3期中期平均	H30	R1	R2	R3	R4	R5
外部資金比率	5.9%	6.4%	5.7%	5.3%	5.8%	7.1%	7.3%

### 人件費比率【退職手当除く】



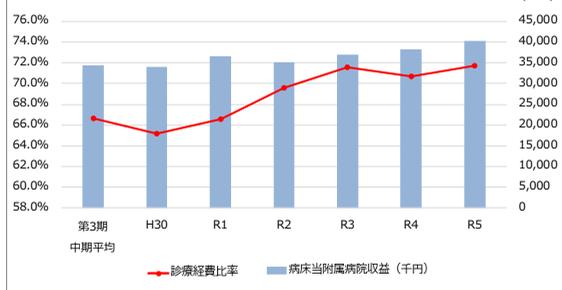
	第3期中期平均	H30	R1	R2	R3	R4	R5
人件費比率	49.1%	49.4%	48.5%	48.9%	47.2%	47.0%	46.2%
人件費 (百万円)	21,075	20,938	21,162	21,249	21,758	21,623	21,860

### 一般管理費比率



	第3期中期平均	H30	R1	R2	R3	R4	R5
一般管理費比率	2.5%	2.5%	2.8%	2.3%	2.8%	2.3%	2.3%

### 診療経費比率及び病床当附属病院収益



	第3期中期平均	H30	R1	R2	R3	R4	R5
診療経費比率	66.6%	65.2%	66.6%	69.6%	71.6%	70.7%	71.7%

	第3期中期平均	H30	R1	R2	R3	R4	R5
病床当附属病院収益 (千円)	34,469	33,983	36,661	35,194	36,913	38,258	40,347

財務指標		判断 *1	計算式
教育経費比率	↑	活動性	教育経費比率 (%) = 教育経費 ÷ 業務費 × 100
学生当教育経費	↑		学生当教育経費 (千円) = 教育経費 ÷ 学生実員
研究経費比率	↑		研究経費比率 (%) = 研究経費 ÷ 業務費 × 100
教員当研究経費	↑		教員当研究経費 (千円) = 研究経費 ÷ 教員実員
診療経費比率	↓	収益性	診療経費比率 (%) = 診療経費 ÷ 附属病院収益 × 100
病床当附属病院収益	↑	収益性	病床当附属病院収益 (千円) = 附属病院収益 ÷ 病床数
外部資金比率	↑	発展性	外部資金比率 (%) = 外部資金収益 ÷ 経常収益 × 100
人件費比率	↓	効率性	人件費比率 (%) = 人件費 (退職手当除く) ÷ 業務費 × 100
一般管理費比率	↓		一般管理費比率 (%) = 一般管理費 ÷ 業務費 × 100

\*1 ↑高い方が望ましい、↓低い方が望ましい

活動性

教育研究活動が適正な水準で実施されているか

教育経費比率：教育経費が大学の業務費に占める割合であり、大学の業務における教育の比重を判断する指標  
 研究経費比率：研究経費が大学の業務費に占める割合であり、大学の業務における研究の比重を判断する指標  
 学生当教育経費：学生1人あたりの教育経費であり、大学における教育活動の活発さを判断する指標  
 教員当研究経費：教員1人あたりの研究経費であり、大学における研究活動の活発さを判断する指標

効率性

経営が効率的に実施されているか

人件費比率：人件費が大学の業務費に占める割合であり、人件費の削減計画等に基づく効率的な運営がされているかどうかを示す指標  
 一般管理費比率：主たる業務とされる教育研究以外の管理運営に係る経費と事業経費との割合であり、効率的な運営がされているかどうかを示す指標

発展性

多様な資金（外部資金）を確保して大学としての財源を安定させているか

外部資金比率：経常収益に対する外部から獲得した収益の比率であり、大学の外部資金による活動状況及び収益状況を判断する指標

収益性

自己収入について、経費に見合う収益確保がなされているか

診療経費比率：附属病院収益に対する診療経費の比率であり、附属病院の収益性を判断する指標  
 病床当附属病院収益：病床1床あたりの病院収益であり、附属病院における収益性を判断する指標



EHIME UNIVERSITY

**【お問い合わせ先】**

**国立大学法人愛媛大学  
財務部財務企画課決算チーム**

〒790-8577  
松山市道後樋又10番13号  
TEL : (089) 927-9062  
FAX : (089) 927-9068  
E-mail : [bunseki@stu.ehime-u.ac.jp](mailto:bunseki@stu.ehime-u.ac.jp)